

2023 年度 中央大学国文学会 講演会

『源氏物語』 ゆかりの古跡を歩く

講師：中川 照将 先生 (中央大学文学部教授)

日時：2023年 10月 25日 (水) 4限 (15:10~16:50)

会場：中央大学多摩キャンパス
FOREST GATEWAY CHUO 3 階ホール

【講演概要】

京都の文学ガイドブックには、『源氏物語』ゆかりのさまざまな古跡に関する解説が載せられています。その解説を手にしながら実際に古跡をめぐるっていると、それらの中には、現代人のわたしたちにとっては、にわかには信じがたいものが混じっていることに気づきます。

今回は、『源氏物語』において、物の怪に殺された人物として有名な夕顔の「墓」を中心に、いかにもいかがわしい『源氏物語』ゆかりの古跡とその歴史について考えてみたいと思います。

【講師プロフィール】

1972 年 福井県生まれ。

1997 年 福井大学大学院教育学研究科修士課程修了。

2000 年 大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）

皇學館大学文学部教授を経て、現在、中央大学文学部教授。

【主要著書・論文】

『テーマで読む源氏物語論 4 紫上系と玉鬘系—成立論のゆくえ』（勉誠出版 2010 年）

『『源氏物語』という幻想』（勉誠出版 2014 年）

『『源氏物語』の巻々はどのような順番で作られたか?』（『古典文学の常識を疑う』勉誠出版 2017 年）

『『源氏物語』の落葉宮はどの「小野」に移り住んだか—岩戸落葉神社と三つの「小野」』

（『紀要（言語・文学・文化）』129 号 中央大学文学部 2022 年 9 月）

※参加費、事前申込は不要です。直接会場にお越しください

※ご来場の際はマスク着用・手指の消毒等、感染予防にご協力ください

皆さまお誘い合わせの上、ご来場ください

主催：中央大学国文学会

問い合わせ先：国文学研究室 kokubun-grp@g.chuo-u.ac.jp